



「こんにちは 市長です」

8月1日号

その1 「360t!!それじゃ、キャパを超えちゃうじゃないか。何も言わずに『ごみ減量!減量!』」。新型コロナ非常事態でごみが一気に増えた。学校も会社も休みになるし、電車の乗り手がなくて新幹線乗車率5%とか。とにかく何でもストップした。家にいるしかない。コロナを止めるために不要不急な外出はしないけど食べ物、飲み物を買に行かなければ干ばしになっちゃう。スーパー・コンビニはコロナのおかげで大にぎわい。行きつく先はトレーや廃プラ、それに紙ごみなどがごみ袋にぎっしり。暇があるからみんなで断捨離もする。緊急事態宣言でコロナは減ったが反比例するようにごみは増えた。焼却場にごみの山が築かれ、広報の写真(7月15日号)で載せた通りである。ひどいことになっている。10%減らして330tにしなければ新焼却炉がパンクしてしまいます。炊事ごみの水切りもお願いします。

その2 7月になってコロナは当たり前になってしまったみたい。感染者が200人越えしても「検査数が増えたから」と平然と記者会見。医師から異論があっても「亡くなる人はいないし、若い人ばかりで重症者なし」と国も都もトーンダウン。感染者が100人超えの頃だったか、都知事は「東京はロックダウンもある」と強い危機感(脅し?)があった。このところ感染者は200人超え、事態が悪化している。そんな中、7月22日からの「Go Toトラベルキャンペーン」である。1兆7千億円分のほとんどは東京圏から地方への旅になる。夏休みは短い。旅が地方を三密にする。空き巣になった東京へ逃げ出す人がいるかもしれない。

「ステイホーム」でごみ減量&感染者減少、両立ができればね!!(7/13記)